

## 目次

### 巻頭

トルストイとショーペンハウアー……………藤沼 貴……………5

二〇一一年第二四回全国大会シンポジウム

「3・11以後の世界を生きるために」報告……………26

ポスト・フクシマの世界を生きるとは、  
何を引き受け、何について考えることなのか？……………齋藤智志……………29

3・11の後に哲学すること……………田邊正彰……………52  
―ゲオルク・ヒヒトの『ここで、そして今』（第二巻）に寄せて

### 翻訳

アンドレアス・ハンゼルト

『二〇世紀におけるショーペンハウアー』  
―ショーペンハウアー協会史（一）……………訳||高辻知義……………75

日本シヨーパーンハウアー協会賞（シヨーパーンハウアー没後一五〇年）

趣旨と審査結果について…………… 2

応募要項…………… 4

日本シヨーパーンハウアー協会賞授賞理由…………… 8

姉崎賞受賞理由…………… 11

論文要旨……………アレックスサンドロ・ノヴェンブレ（訳∥多田光宏）…………… 13

シヨーパーンハウアーの「物自体としての意志」という理論の前身

……………アレックスサンドロ・ノヴェンブレ…………… 19

論文要旨……………ヨルク・ベルナルデイ（訳∥板橋勇仁）…………… 77

「純粹認識」と「純粹経験」……………ヨルク・ベルナルデイ…………… 85

—シヨーパーンハウアー美学と初期西田哲学